



校友会だより

校友会誌

第14号 2015年

平成27年4月20日(月)発行

<http://kouyuukai.org>

母校 新校舎(平成23年9月竣工)



校友会 総会・懇親会のご案内

平成27年5月23日(土)

- ◇ 総会 於 大阪商業大学ユニバーシティホール「蒼天」
開会 午後2時00分(受付 午後1時30分)
- ◇ 懇親会 於 U・コミュニティホテル「U・コミュニティホールL」(TTSセンター6階)
開会 午後4時30分(受付 午後4時15分)

懇親会会費	特別会員(現・旧教職員)	招待
	正会員	¥5,000
	長寿会員(第1期~第28期)	¥2,000
	新卒会員(平成24~27年3月卒)	招待

- ※ 総会および懇親会参加希望者は、5月9日(土)までに「返信用はがき」で、お申し込みください。
- ◎ 懇親会会費・活動賛助金・賛助広告料を振り込まれる方は、「返信用はがき」の返送は不要です。
- ◎ 総会終了後、次のイベントを計画しています。お楽しみに。

「摂州平野郷地車囃子」 出演 平野地車囃子保存会

「河内音頭・江州音頭」 出演 額田音頭会

「ごあいさつ」

校友会会長 宮原 健



校友会会員の皆様には、ますますご健勝でご活躍のことと存じます。平素は、校友会活動にご理解とご協力を賜りましてありがとうございます。

校友会の運営は、お蔭様で恙なくできていますことは、皆様のお支えがあつてればこそと、感謝いたしております。

たしております。

さて皆様には、卒業後は母校を訪問する機会が少ないと思われま。

ご承知とは思いますが、母校は平成15年度より普通科にコース制を採用し同時に共学制が発足しました。ゴツゴツした男子校のイメージから、学校の雰囲気も随分華やいだ空気が流れています。秋には、体育祭や文化祭が行われます。ぜひ、新しい時代の母校を覗いていただきたいと思ひます。

会則の第3条に「本会は、会員相互の親睦を図り、併せて母校の後援をなすをもってその目的とする。」とあります。

目的達成のために、年に一回の総会および懇親会の場をもっと活用していただきたいと思ひます。

横軸の同期の皆様や縦軸のクラブのOB会で声を掛けあつてミニ同窓会・ミニOB会を計画していただければ、もっと充実した会になるのではないかと思ひ次第でございます。

今後は、更に新しい事業を視野に入れながら校友会や母校発展のため力を尽くしたいと思ひております。

どうぞ会員の皆様には、よろしくご協力賜りますようお願いいたしましてごあいさついたします。

「校友会総会に寄せて」

母校校長 堀井 純



校友会総会の開催を、心よりお喜び申し上げます。

また、会員の皆様には、日頃より本校教育に多大なご協力、ご支援をいただき厚くお礼を申し上げます。

さて、本校の「共学・普通科コース制」も、13年目を迎えました。

最初は5コース(内共学はプログレス国英・プログレス理数・デザイン表現の3コース)で発足。その後、進学デベロップコースが新設され6コース。

平成25年度から、「文理進学コース」が募集を開始し、現在、グローバル商大・文理進学・スポーツ専修・デザイン美術の4コースとなっています。また、昨年からの唯一男子のみになっていたスポーツ専修コースが、共学定員80名2クラスになりました。

この2月の入学試験では、久しぶりに3科目入試で実施しました。そして、試験の採点等にミスのないように、厳重に注意をして無事終了することが出来ました。

今、本校では女子生徒の明るい声が、溢れています。しかし、まだ女子生徒数は全体の4分の1です。学校としては、今後4割位の割合になるように、女子の参加できるクラブの充実、精神的なサポートなどソフト面での取り組み強化を進めます。またハード面では、クラブ活動の出来る施設の確保、快適で清潔な学習環境作りを進めます。

引き続き学習面での取組みを強化します。充実した授業を基本に、学習する習慣を付ける学校、学力を付ける学校。そして、クラブ活動の盛んな学校を目指します。

今後とも皆様のご指導ご支援のほど、よろしくお願いいたします。



母校 東側庭園から東館を望む

■ 歴代の校長先生 (敬称略)

初代	谷岡 登	昭3. 4. 1~昭13. 3. 31
2代	山田 楊之助	昭13. 8. 20~昭14. 5. 10
3代	竹谷 辰郎	昭14. 11. 2~昭18. 3. 11
4代	谷岡 拓磨	昭18. 3. 12~昭23. 3. 31
5代	谷岡 登	昭23. 4. 1~昭24. 3. 31
6代	谷岡 拓磨	昭24. 4. 1~昭42. 3. 31
7代	谷岡 太郎	昭42. 4. 1~昭44. 8. 31
8代	小林 得一郎	昭44. 9. 1~昭54. 3. 31
9代	湯原 俊雄	昭54. 4. 1~昭61. 3. 31
10代	柴田 巖	昭61. 4. 1~平4. 3. 31
11代	久間田 博幸	平4. 4. 1~平9. 3. 31
12代	中山 次郎	平9. 4. 1~平12. 3. 31
13代	厚母 眞一	平12. 4. 1~平16. 3. 31
14代	尼子 東吉	平16. 4. 1~平20. 3. 31
15代	大塚 信一	平20. 4. 1~平25. 3. 31
16代	堀井 純	平25. 4. 1~

第 85 期生 450 名 校友会会員に



平成 26 年度 第 85 期生の卒業証書授与式は、本年 2 月 21 日(土)晴天の良き日に、母校体育館において挙行された。

定刻前にブレザーの胸にコサージュを付けた卒業生が、学級担任の引率によって紅白の幕が張られた式場に入場。厳粛な式の準備が粛々と進む様は見えて非常に清々しい思いであった。卒業生の入場が完了すると、開式に先立って、司会の阪口耕次教頭先生から来賓の方々が紹介され、式は定刻に始まった。

はじめに、副校長小松丈倫先生より学事報告があった。本年度の卒業生は、昭和 7 年 3 月、旧制大阪城東商業学校の第 1 期生から通算すると第 85 期生にあたる。昭和 24 年 3 月新制高等学校から通算して第 67 期生である。その間の卒業生総数は、実に 29,124 名にも上るとのこと。母校の偉大な歴史を感じずにはいられない。

また、平成 15 年度から普通科にコース制が採用され、共学制が発足して 10 回目の卒業証書授与式に当たり、女子生徒も今年卒業した 115 名を加えて 468 名に上った。

担任教諭から卒業生の氏名が読み上げられ、それに応

えて卒業生が自席で起立し、クラス単位で“礼”“着席”を繰り返し、13 クラスが終わると、8 組の丸田大夢君が卒業生を代表して式場の中央に設置された演舞台上で学校長堀井純先生から卒業証書が授与された。

続いて、学校長の式辞、来賓の谷岡学園理事長・大阪商業大学学長谷岡一郎先生の祝辞、PTA 会長重松忠士氏からの励ましの言葉が贈られた。

祝電の披露に続いて、在校生代表の田中大貴君からの「送辞」、そして、卒業生代表河野貴一君から「答辞」と進み、最後に校歌を斉唱して式は滞りなく終了した。



今回の卒業証書授与式は、実にシンプルで清々しく威厳に満ちた素晴らしい式であったと思ったのは、私だけであろうか。

卒業生の退場は、クラスごとに中央で横一列に整列し、“3 年間お世話になりました”などの号令で一同礼の後、式に参列した人たちの拍手に送られて、全員爽やかな顔をして式場を後にした。

素晴らしい卒業証書授与式に参列して、若い人たちのパワーを吸収し、爽やかに晴れ晴れした一日であった。



■ 卒業生数の累計

第 85 回 卒業証書授与式 平成 27 年 2 月 21 日現在

学 校 名	全 日 制			定 時 制		合 計		累 計
	商業(男)	普通(男)	普通(女)	商業(男)	商業(女)	男子	女子	
大阪城東商業学校(旧制) 昭 6 年度~昭 25 年度	2,735			1,339		4,074		4,074
城 東 高 等 学 校(新制) 昭 23 年度	16					16		4,090
大阪城東大学附属高等学校 昭 24 年度~昭 26 年度	206	84		139		429		4,519
大阪商業大学附属高等学校 昭 27 年度~平 3 年度	5,875	10,970		591	26	17,436	26	21,981
大阪商業大学高等学校 平 4 年度~平 25 年度		6,366	327			6,366	327	28,674
平成 26 年度(第 85 期生)		335	115			335	115	29,124
小 計	8,832	17,755	442	2,069	26	28,656	468	
合 計		27,029		2,095		29,124		

※ 大阪城東商業学校の 全日制商業科=第 1 本科、定時制商業科=第 2 本科 と読み替える。

附属中学校は、昭和 30 年 4 月以降、生徒募集中止。

旧制商業学校・高等学校・中学校の 総計 30,295 名

大阪商業大学附属中学校	昭和 22 年度~昭和 31 年度	1,171
-------------	-------------------	-------

会員寄稿文

「進学と敗戦70周年 当時の思い出」

第21期（昭和26年卒業）澤 邑 知 明

70年前の昭和20年の正月、私は信貴山上の寮〔料理旅館〕に居た。敗戦色が濃くなった19年の夏、都会の小学(当時は国民学校)3年生以上の児童は縁故又は集団で強制的に学童疎開をさせられた。〔当時は天皇陛下も疎開をされていた〕食料も乏しく竹の茶碗に汁碗で薄い雑炊。風呂も何日かに1回、大勢が入る為、濁った汁状で毎日虱との戦い、低学年生が寝小便をしてもそのまま、肝心な学校としての施設や設備は全く無く旅館の畳の間での授業で、実に惨めな日々を半年間過ごさざるをえなかった。当時6年生だったので卒業と進学のため、2月の半ばに帰宅した。受験勉強など全く出来ていなかった。

先生が「空襲警報が発令されると、交通機関が止まるので、なるべく自宅から近くの学校を選びなさい。」と言われ、友達と3人で小阪にある布施工業学校〔現商大高校の中学部〕に行こうと願書を提出しに行った。

国民学校の卒業式は3月14日であったが、前夜にあの大阪大空襲で町の中心部が殆ど無残な焼野原と化した。幸い我々は被災から免れ、午後から簡単な卒業式が行なわれた。(小阪の駅前南側も数軒被災されていた。)幸いと言うかあの空襲で入学は“無試験”になった。4月の入学時は機械科5クラス・航空科2クラス計7クラスであった。

毎日、ゲートルを巻いて戦闘帽を被り防空頭巾を掛けての登校であった。先生が足りず卒業された先輩5名の教練も厳しかった。

入学当時は4年制で3~4年生は学徒動員で軍需工場に出掛けたり校内は意外と静かであった。我々も“実習”という名目で布施の軍需工場に何日か行かされ、米粒の少ない大豆の多い雑炊一杯で〔軍馬の糞〕をグラインダーやボール盤を使って作業をさせられた。

工業学校なので一応“分度器・コンパス・T定規・雲形定規等々”買わされたが、使った記憶はない。終戦までに確かB29爆撃機による大きな空襲は7~8回あり、グラマンやカーチスなど戦闘機による機銃掃射など空襲は幾度もあり毎日恐怖の連続で勉強は進んでいなかった。

一回は我が家の約100メートル先まで一面火の海で、又、流れ弾が10数メートル先に落ち、数軒が被災した。焼夷弾は最初のころは8ポンドから6ポンドに。一塊が空中で36発に分散され、それが何千発も大雨が降ったようなザアザアと音を立てて頭上に落ちてくる様子は子供心にも生きた心地は無かった。

また、爆弾は500キロと1トンで、6月だったか布施駅北側約100メートル位の処に爆弾が落ちた時は、最初は小さなゴマ粒が電車が鉄橋を渡っている様なゴウゴウとうなりをたて自分に吸い込まれそうに、だんだん大きく迫ってきたので、慌てて目と耳を手で押さえ大きく口を開けて地に伏せた間もなく大

音響と共に地震のごとく地や家が揺らいた。

頼みの3球真空管のラヂオも停電で情報は全くゼロの時代、恐怖であった。大阪の長堀橋と布施の高井田にB29が撃墜されたのか墜落したのか無残な残骸を見に行った。度々の空襲で間近まで被災したが、我が家の畳6枚重ねた防空壕に高射砲の大きな破片が突き刺さった程度で幸いにも直接の被災は免れた。また、焼け跡に細々流れている水道があるのを聞きき、バケツを自転車に積んで運んだり、近年使っていなかった井戸の水を探して濁った水も貰いに走ったりもした。当時の被災者には昨今のようなケアや援助は一切なかった。

夜は灯火管制を敷かれ、外に明かりを漏らさぬため裸電球に黒い覆いの布を被せ、また、空襲による停電や断水・ガスも止まり、食料も一日2合8勺から後半は2合1勺に減った米の配給も遅配がちで、指定日に販売所まで行き、米穀通帳を見せ並んで買っていた。まさに地獄の様で、教材も乏しくとても勉強どころではなかった。余談だが敵の照明弾は空中でダイダイ色のような光を放ち、真っ暗な夜空を真昼のように永い時間地上を照らしてくれていた。

8月15日正午に「天皇陛下の玉音放送がある。」とのことで、雑音の入るラヂオの前で放送を待った。あの「耐難きを耐え、偲び難きを偲び…」で無条件降伏と言う敗戦を知った。

戦後も空襲こそ無いが食料不足は依然と続き、(前にも述べたが25年の修学旅行時にも米持参)闇屋から闇市と規模が大きくなり(近くでは大阪駅前を始め上六・京橋・鶴橋・布施等々)急激なインフレに所得は追いつかずタケノコ生活で当時の親たちは大変であったであろう。

2年生は元の商業学校になったので一転して商業簿記や商業経済等になり、珠算塾に通うも、小学校低学年の生徒と一緒に割り算の九九など習っていた。電気も停電時間が長くカーバイトランプのチカチカとした明かりの下で珠算玉を弾いていた。学校でも教科書を補うため、先生が、ざら紙に謄写版で刷った資料を時々配って下さっていた。在学中はG. H. Q.の命令により日本史や地理、体育系でも武道(柔道・剣道等)が禁止され、部活も出来なかった。

昭和22年度に6・3・3制と制度が変わり新制中学3年で卒業できる事となったので7クラス中4クラスの友達が巣立たれ、進学の城東高等学校には商業科2クラスと普通科1クラスの計3クラスとなってしまった。

以前に校友会総会の後、校内の現在の施設や設備を見学させてもらった。当然、我々の時代とは比較にならないが、総てが想像を絶する最先端の設備に驚きを禁じえなかった。

あの、悪夢を振り返り我々の生活面でも年々向上してゆき、今では何不自由なく有り難き日々を送らせて戴いており、感謝・感謝の気持ちと、この平和を末

永く続く事をただただ祈るばかり。
今年には母校に入学と敗戦と思い出の多い70周年である。



「傘寿の年ともなりました」

第24期（昭和29年卒業）高橋 利夫

今年、数え年で80歳ともなりました。手元の「模範小六法」（平成27年版）（仕事柄六法は、今でも手放せない。）にあるカタカナ書きの「年齢計算ニ関スル法律（明治35年）」によれば、「①年齢ハ出生ノ日ヨリ之ヲ起算ス」とある。また、「年齢のとなえ方に関する法律（昭和25年）」によれば、「①（略）国民は、年齢を数え年によって言い表わす従来のならわしを改めて、年齢計算に関する法律（略）の規定により算定した年数（一年に達しないときは、月数）によつてこれを言い表わすのを常とするように心がけなければならない」とある。

法律の定めるところに従えば、正しくは、誕生月の3月が来て満79歳で、80歳になるのは、来年のことである。しかしながら、数え年では80歳、傘寿の年ともなったということはいったかったのである。

55歳で厚生省を退官して（国の機関勤めの人には、官というのをよく遣う。）、国家公務員法上の定年60歳を待たずに辞めさせられ（これを「勸奨退職」という。）、2号俸（定期昇給2年分）アップの特別昇給が、退職金や年金アップに結び付く。それに、年金の受給開始が58歳からとなり、63歳定年の財団法人勤務が約束される。

8年勤め上げた後、当時の失業保険の失業手当を目一杯受給した後、行政書士と社会保険労務士を開業、遺言・相続・成年後見やら年金関係の相談・講義に就いた。専門学校で福祉法規の非常勤講師もした。行政書士は、平成23年3月に廃業、現在は、社会保険労務士だけ名乗っている。

これと同時に地元で自治会活動に誘われ、やがて会長となり、今春には、満11年となる。長らくやっているということで、さいたま市・区の各種団体の役職に就き、県・市・区の審議会等の委員も務めている。

そんな集大成として、昨年は、9月に公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会から年金相談員13年ということで感謝状をいただいた。

10月には、埼玉県警察本部長から地域安全功労者として、表

彰状を受けた。11月には、さいたま市長から、さいたま市政功労賞（コミュニティ功労）を受けた。これらは、これまでの地元での自治会活動について、評価していただいたものと有り難くいただいた。

47歳のときにヘルニア、52歳のときには胆石症、75歳のときに白内障と大きな手術を経ながらも比較的元気で暮らしてきた。「高橋さん、お元気ですね」とよくいわれるものだが、さすがにこのところ、体力、気力の減退を知るところとなってきた。特に、この2年、予定がびっしりと埋まって休むことができない日々となっていた。

そんなことで、年度替わりの区切りのいいところで、この春、もっぱら退くことに努めようと考えているところである。

傘寿まで、よくぞ務めさせてくれたものと感謝している。

「吹奏楽部 創部 80 周年」

第29期（昭和34年卒業）宮原 健

平成26年11月2日（日）母校「吹奏楽部創部80周年記念の会」を、大阪府吹奏楽連盟をはじめ多く関係各位をお招きして大阪商業大学ユニバーシティホール「蒼天」において開催した。

第1部は、母校吹奏楽部の定期演奏会を創部80周年記念として開催していただき、現役部員の演奏の後、現役部員に顧問団とOB有志が加わっての合同演奏を披露した。

第2部は、記念式典を挙げる。大阪府吹奏楽連盟副理事長北原祥弘先生・母校副校長小松丈倫先生・校友会顧問岡田誠一様からご祝辞を頂戴した。最後に、「80年のあゆみ」と題して吹奏楽部誕生から現在までの活動状況を懐かしい写真をパワーポイントで投影しながらの講演を行った。

第3部は、U・コミュニティホールにおいて懇親会を開催した。母校前校長の大家信一先生からご祝辞をいただき記念の懇親会が始まった。会場には、懐かしい資料などを展示するなど工夫を凝らした。



吹奏楽部創部80周年記念の会

於 大阪商業大学ユニバーシティホール「蒼天」

平成26年11月2日（日）

暫くは、各テーブルでそれぞれ談笑を交わしていたが、やがて順次ステージに立って近況や学生時代の思い出などを語る者、隠し芸で場を盛り上げる者、有志で「商大節」を演奏したり、現役部員のパフォーマンスで楽しいひと時を過ごすことができた。

ここで、「吹奏楽部80年のあゆみ」の一端を紹介する。

昭和3年2月、母校の前身である旧制中等学校の大阪城東商業学校が創立され、創立6年後の昭和9年4月、情操教育徹底を目指して「音楽」の科目が開講され、同時に多くの楽器を購入してブラスバンドが組織された。“吹奏楽部の誕生”である。

創部以来、日夜練習に励み名バンドに成長したが、昭和16年12月、日本が第2次世界大戦に参戦すると、混乱の時代がやってきた。終戦前の学校では、勤労奉仕や学徒動員、先生方の応召等により、十分な授業もできず、勿論、部活動もマヒ状態であったと伺った。

終戦後、いち早く部活動が再開されたが戦後の混乱期では十分な活動が出来なかった。

30年代に入って、戦後の混乱期から日本もやや平和な社会を取り戻りつつある安定期に入って、多くの学校で吹奏楽部が組織され、めざましい発展がみられた。

40年代には、部員数も40名を超える大所帯となり、演奏技術も飛躍的に進歩し、吹奏楽コンクールでも優秀な成績を収めるまで成長した。しかし、50年代に入って新しい分野の音楽が台頭するにつれ、地味な練習を重ねなければならない吹奏楽に興味を持つ者が減ってきたためか、次第に新入部員の獲得が難しくなり、満足な演奏活動もままならない“低迷の時代”がやってきた。

平成に入ってから新入生の入部は少なく、廃部の危機が続いた。

母校はもともと男子校であったが、平成15年度から普通科にコース制が採用され、一部のコースで共学制がスタート。次第に女子生徒の新入部員が増え、小編成ながらなんとか演奏活動が出来るようになった。

今後、現役部員には、母校吹奏楽部の良き伝統を継承しつつ、90周年・100周年に向けてより飛躍されることを期待して“むすび”とする。

「第85回卒業式を終えて」

第60期（平成2年卒業）坂口 洋平

（母校教諭 平成26年度 第3学年主任）

去る平成27年2月21日、第85回卒業式において、450名の生徒たちが本校を巣立っていきました。生徒たちはこの三年間で一歩ずつ成長し、立派な姿を見せてくれました。

生徒たちが本校で学んだことを活かして、それぞれの進路先でも活躍してくれることを期待しております。

この生徒たちが入学した3年前、私は学年主任として、卒業

するまでに「当たり前のことを、当たり前にする」ことができた人物として本校で学んでいてもらいたいと考えました。

学年スタート時は、本校にとって久しぶりとなる503名という巨大学年となりましたが、教員全員が同じ志を持ち、生徒たちに本校で学べて良かったと誇りを持って卒業してもらいたいという覚悟で臨みました。

入学後すぐのオリエンテーションで、時間を守る大切さや基本的な挨拶などの徹底から始まり、本校の柱の1つである行事を通して生徒同士の交流を深め、団結する力を養ってきました。また、本校で学校生活を送るためだけでなく、将来、世の中に出てすばらしい社会人として各分野で活躍してくれることを想定し、必要なマナーを身につけさせるため指導してきました。

もちろん、多くの生徒との衝突もありました。多くの生活指導事象が起きました。昨今の携帯電話におけるインターネット問題も、我々の頭を悩ませるものでした。しかし、問題行動を起こした生徒とどう関わっていくのか、どのように指導していくべきなのかは、我々教員にとっても常に考え、粘り強い指導を続けなければなりません。その結果、生徒たちに少しずつ変化がみられるようになったと感じます。

3年間の指導を通して、私たちも生徒たちから学ぶことがたくさんありました。人が生きるうえで学び続けていくこと、成長し続けていくことは重要なことです。だから私は、教員自身も、生徒と同じく常に学び、成長していかなければならないと思います。そして、私も、学年団が一つになり、情報を共有することで生徒たちを指導し見守っていく姿勢を作り上げるためにリーダーシップを発揮する必要がありました。この3年間で私も生徒たちと共に成長できました。そして、私たちが至らない部分を、校長先生はじめ、学年団や多くの教員、そして保護者の皆様に支えられながら3年間を歩んでいくことができました。盛大な卒業式を迎えることができました。本当に感謝してもしきれない思いです。有り難うございました。

平成26年度 第3学年 担任団 (写真 敬称略)

前列 坂口 洋平(1組主任) 基江みどり(2組) 藪田 謙一(3組)

山畑 範明(4組) 山田 恭子(5組) 廣木 啓光(6組)

後列 増井 智樹(7組) 松井 英孝(8組) 中村 隆都(9組) 西田 博(10組)

松村 真史(11組) 泉谷 治正(12組) 松久 智彦(13組副主任)



「 献血活動を通じて 」

第 62 期 (平成 4 年卒業) 松尾 成彦

いろいろなスポーツや文化活動等で活躍される方が多い中、私にも何かできることはないかと、わが母校に在学中から考えていたものの一つとして献血があります。

もともとクラスの友達が、とある女優さんのポスターが欲しいから献血センターで貰ってきてくれと言われて行ったのが私の献血活動の始まりです。その時は何気なく行ったのですがちょくちょく行くようになりました。

(別にお気に入りの看護師さんがいたわけではなく……)

それから暫く行かなかったことがありますが、四半世紀が過ぎ平成26年11月に、大阪府赤十字社より70回の表彰を受けました。

他の活発な方からすれば鈍足です。ずっと続けていないのですが現在の制度に変更されてから累積がわかりやすくなったのもあり、「健康である限り、行ける限り、行ける時に行こう」というのが今回の表彰に繋がったと思います。

表彰者名簿を拝見しますと100回、200回、500回と大勢の方々が回を重ねられておりさらに頑張っていかなければならない思いを抱き、みんなに伝えていく事も大事だということも思いました。私自身、食器販売を生業といたしておりますがこの献血活動を通じ万人に対して思いやる原点を養い、常に精進することを学びました。

またこれを活かして、迷走?いやいや、邁進していきます。皆様方も献血バス見かけたら気軽に行ってみてください。

「 私 の 夢 」

第 85 期 (平成 27 年卒業) 岡山 絵里

私の夢は、世界を舞台に活躍するプロゴルファーになることだ。私は8歳のとき、父の影響でゴルフを始めた。初めは遊び感覚だったが、試合を重ねるうちに、もっと強くなりたいと思

うようになり、本格的にゴルフに取り組むことになった。

高校2年生のときに、ナショナルチームに選出された。そして3年生のときには、春の全国大会で優勝したことにより、日本代表選手にも選出され、世界アマチュアゴルフ選手権や、アジア大会・ネイバーズトロフィーにも出場した。大きなプレッシャーの中で世界を相手にプレイするという経験は、とても貴重なものだった。

私は、世界での経験以外にも、ゴルフを通じてたくさんのことを学んだ。初めはゴルフさえ上手ければそれでいい、そんな考えを持っていたが、高校に入学すると、そのような考えはなくなった。まず、ゴルファーである前に一人の人間として成長しよう、そう思うようになった。嫌いだった勉強も、ゴルフを理由に怠るのはやめ、積極的に取り組むようになった。

ゴルフ部に入部したことにより、新しい仲間もできた。ゴルフは個人競技のため、団体行動をしたことがなかった私には、とても新鮮だった。辛いトレーニングや困難もみんながいたから乗り越えることができた。本当に感謝している。

学校の先生方や、友達にも感謝の気持ちを伝えたい。ゴルフ部の監督や顧問の先生は全力で私をサポートしてくれた。他の先生方は応援の声をたくさんかけてくれた。トレーニングを教えてくれる先生もいた。学校の友達は、試合で休むことが多い私を快く受け入れてくれ、いつも応援してくれた。私は大阪商業大学高等学校に入学し、先生方や素晴らしい仲間・友達・全力で応援しサポートしてくれる方々に出会えて、本当に幸せだ。たくさんの人たちのおかげで、かけがえのない最高の高校生活を送ることができた。そしてゴルフを始めるきっかけを与え、ずっとサポートし続けてくれる父への感謝も忘れない。

私の夢を実現させるには、これからどんな困難にもめげない根気とゴルフを楽しむ心が必要だと思う。大阪商業大学高等学校で過ごした3年間は、今後の私の人生に大きな励みになる。私に関わってくれたたくさんの人たちに対して、常に感謝の心を忘れず、これからも夢の実現に向けて日々精進していきたい。

■ 大学・短大合格状況

※ 数値は延べ合格数

3月上旬 現在

ゴシック = 系列大学

四年制大学名	合格	四年制大学名	合格	四年制大学名	合格	短期大学名	合格
大阪商業大学	102	羽衣国際大学	1	京都文教大学	5	大阪女子短期大学	2
神戸芸術工科大学	11	近畿畿大学	4	龍谷大学	3	大阪国際大学短期大学部	2
京都市立芸術大学	1	四條畷学園大学	2	甲南大学	1	大阪女学院短期大学	1
長岡造形大学	1	四天王寺大学	14	甲南女子大学	3	大阪信愛女学院短期大学	3
大阪経済大学	4	摂南大学	19	大手前大学	2	大阪夕陽丘学園短期大学	2
大阪学院大学	5	相愛大学	2	関西福祉大学	1	関西外国語大学短期大学部	4
大阪樟蔭女子大学	3	ブール学院大学	1	宝塚大学	1	近畿大学短期大学部	1
大阪経済法科大学	8	常磐会学園大学	3	神戸医療福祉大学	1	常磐会短期大学	2
大阪芸術大学	4	阪南大学	38	神戸学院大学	2	奈良芸術短期大学	2
大阪国際大学	4	太成学院大学	2	流通科学大学	1	奈良佐保短期大学	1
大阪体育大学	1	桃山学院大学	28	帝塚山大学	6	白鳳短期大学	1
大阪産業大学	11	京都産業大学	4	天理大学	9	東大阪大学短期大学部	1
大阪工業大学	1	佛教大学	1	奈良大学	4	短期大学小計	22
大阪電気通信大学	8	京都学園大学	1	奈良学園大学	1		
大阪人間科学大学	1	京都造形芸術大学	3	八戸学院大学	2		
大阪成蹊大学	1	京都精華大学	9	日本福祉大学	1		
追手門学院大学	7	京都外国語大学	2	中央学院大学	1		
関西外国語大学	4	京都光華女子大学	1				
				四年制大学小計	356	大学合格数総数	378

特別寄稿

「スキー部 メモリーズ」

母校元教諭(元 スキー部顧問) 吉村 峻治

毎年11月20日すぎると、スキー板の手入れ、ストック、靴、服装、校名入りゼッケン、部旗等々の点検し出かけたものだ。

12月修了式当日夕刻より合宿で志賀高原(発哺、法坂、丸池、熊の湯、ジャイアンツ)野沢温泉では、宿舎は日出美荘、赤倉等大糸線信濃大町下車塩島方面等に出かけ、白馬第一ケルン等々。大阪府立泉尾高校ヒュッテ附近にも練習に出かけた。

宿舎に到着すると部旗を玄関に立てておく事。大阪大会は、神鍋高原万場スキー場での大会が多かった。宿舎は、商大OB経営の民宿「増田ハウス」に泊めてもらい、夜アフタースキーも伝授してもらった。雪が少ない時は、大阪府立泉尾高校ヒュッテ附近での大会となった。

我が校も初参加した。大回転のみの参加。シードされず出発も30番後半で滑走面も悪くそれでも8位に入賞した選手もいた。よく頑張ったものだ。

12月の合宿は、吹雪も多く、練習中は寒く午後4時ごろになると薄暗くなり、リフトも止まり練習も出来ない時もあった。でも

ラッセルをしながら我々のチームは練習を続けた。

7~8人のグループになり初級・中級・上級に分かれそれぞれの先生に担当してもらった。合宿最終には、直滑降・斜滑降・デラバージョー・ブルーボーゲン・バーゼレン等々スキー技術の上達度を先生方に披露してもらった。無論、最初に滑るのは模範演技として各先生方が担当した。なかでも志賀高原、ジャイアントスキー場、少し斜面が急であったが良き思い出となった。当時、大活躍をした選手も多いが、丹羽、松浦両君等々どうしているかなー。同窓会が待ち遠しい。

出席してヤ。楽しみにしてマッセ!

今後期待すること。

スキー競技の技術の向上、持久力、行動体力、瞬発力等、充分身につけ、大阪大会上位入賞だけでなく全国大会を目指し部員諸君の大活躍を祈ります。

エクスペストしてマッセ!

追伸

私は、スキーに対する専門的知識(基本技術、応用技能、指導方法等)長野県菅平スキー場でスキーに対する著書も多数ある西山実幾先生の指導を受けた。

「ハワイ修学旅行」

母校 第3学年主任 巽 友宏

平成26年度の修学旅行は、目的を「コミュニケーション能力の向上(英会話)」「異文化体験」とし、ハワイ修学旅行を実施しました。

1日目は、最初に「戦艦ミズーリ」を訪れました。実際に第2次世界大戦で使用された戦艦に乗り込み、この戦艦の上で降伏文書調印式が行われたことやゼロ戦が特攻したことなどを学びました。時差ボケでの体調面を考慮し、この後は、景色のよいカアコ公園でのんびりし、1日目を終わりました。

2日目は、生徒8人ほどに対して1人の現地大学生が引率し、英語でコミュニケーションをとりながら大学キャンパス内や町中を散策しました。大学生と別れた後、「ポリネシアカルチャー

センター」を訪れ、トンガの音楽ショーやフラダンス体験などポリネシアの国々の文化を体験しました。ナイトショーも見学し、最後のファイヤーダンスは大変盛り上がりました。

3日目は、4つのプログラム(ダイヤモンドヘッド・プライベートビーチ・乗馬・バギー体験)から選択し、それぞれにハワイを満喫しました。その後は、生徒達のお楽しみである自主研修の時間でした。ワイキキ周辺のみでの散策でしたが、おみやげを買ったり、飲食店でのおんびりしたりと3時間という短い時間でしたが、とても満足している様子でした。

現地3泊という短い期間ではありましたが、2つの目的を達成することができました。さらに、修学旅行を通じてクラスメイトの新たな一面を発見できたりし、仲間との絆が一層深まったことと思います。



戦艦ミズーリ



ポリネシアカルチャーセンターのカヌーツアー



ダイヤモンドヘッド頂上からの眺め

平成 26 年度 校友会総会

平成 26 年 5 月 18 日(日)平成 26 年度校友会総会を大阪商業大学ユニバーシティホール「蒼天」に於いて開催した。

会長の挨拶に続いて母校の校長先生よりお祝いの言葉を頂戴して総会が始まった。

総会の詳細は割愛するが、以下に平成 25 年度事業報告と会計収支決算報告書を掲載する。

平成 25 年度 事業報告

25. 4. 6(土)	母 校 第 86 回 入学式 に参列
5. 11(土)	第 1 回 役 員 会 於 母校 大会議室
5. 19(日)	平成 25 年度 総 会 ・ コンサート ・ 懇親会 第 1 部 総 会 於 商大 ユニバーシティホール蒼天 第 2 部 ジャズコンサート 於 同上 第 3 部 懇親会 於 U・コミュニティホールL
9. 25(水)	母 校 第 85 回 体育祭 に参列
9. 28(土)	母 校 第 54 回 文化祭 に参加
11. 30(土)	第 2 回 本部役員会 於 母校 選択第 2 教室
26. 2. 22(土)	母 校 第 84 回 卒業証書授与式 に参列
3. 8(土)	第 3 回 役 員 会 於 母校 視聴覚教室

平成 25 年度 校友会会計収支報告書

(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

収入の部		支出の部	
項 目	決 算 額	項 目	決 算 額
前年度繰越金	6,019,114	総 会 費	130,000
会 費	1,750,000	懇 親 会 費 用	270,000
懇 親 会 会 費	174,000	役 員 会 費	42,500
校友会活動賛助金	401,000	通 信 費	894,942
賛 助 広 告 料	337,000	印 刷 費	126,273
雑 収 入	1,146	消 耗 品 費	103,961
		雑 費	24,520
		広 報 宣 伝 費	498,200
		諸 集 会 費	50,000
		慶 弔 費	127,647
		育 英 奨 学 費	0
		ク ラ ブ 活 動 補 助	135,000
		学 園 祭 補 助	214,900
		予 備 費	0
収入の部合計	8,682,260	支出の部合計	2,617,943
単年度収入合計	2,663,146	単年度支出合計	2,617,943

収入総額 ¥8,682,260 - 支出総額 ¥2,617,943 = 次期繰越 ¥6,064,317

平成 25 年度の収支決算を監査の結果、財産状態 監査 赤部 功
ならびに運営状況を適正に表示しています。 井野 早雄

平成 26 年 5 月 10 日

[印省略]

第 1 部 総 会

於 大阪商業大学 ユニバーシティホール「蒼天」



第 2 部 吹奏楽演奏会

演奏 大阪商業大学高等学校吹奏楽部

於 大阪商業大学 ユニバーシティホール「蒼天」



第 3 部 懇 親 会

於 U・コミュニティホテル「U・コミュニティホールL」



2014 年度 クラブ実績

◇印…国際大会 / ☆印…全国大会 / ◆印…府県代表

硬式野球部	[昭和 4 年創部]
■春季近畿地区大会大阪府予選	2 回戦
■全国高校野球選手権大阪大会	2 回戦
■秋季近畿地区大会大阪府予選	ベスト 8

男子バスケットボール部	[昭和 4 年創部]
■第 67 回大阪高校バスケットボール選手権大会	6 位
■第 61 回近畿高校バスケットボール選手権大会	出場
■第 69 回大阪私立高校総体バスケットボール大会	5 位

陸上競技部	[昭和 4 年創部]
■大阪 I・H 地区予選会	川口大輝(2 年)3000mSC 10' 11" 55 総合 7 位
■大阪 I・H	松井誠(3 年)400mH 57" 54 準決勝進出 川口大輝(2 年)3000mSC 9' 45" 31 準決勝進出 男子 4×400mR 3' 23" 53 準決勝進出
■大阪高校総体地区予選	三宅結大(1 年)200m 23" 75 総合 5 位 中武 司(1 年)走高跳 1m70 総合 9 位 本田直樹(1 年)円盤投 28m35 総合 5 位 笹井加奈(1 年)走幅跳 4m60 総合 7 位 長柄静来(1 年)走高跳 1m40 総合 5 位
■大阪高校総体	三宅結大(1 年)200m 23" 16 準決勝進出 船越雄太(1 年)400mH 59" 15 第 6 位 川口大輝(2 年)3000mSC 10' 00" 52 第 7 位 本田直樹(1 年)円盤投 32m06 第 7 位 男子 総合優勝, 女子 総合 2 位
■大阪商業大会	川口大輝(2 年)3000mSC 9' 56" 49 第 5 位
■大阪私学大会	川口大輝(2 年)5000m 15' 39" 94 総合 2 位
■地区別秋季大会	金沢雅貴(2 年)110mH 16" 65 総合 3 位 川口大輝(2 年)3000mSC 9' 45" 00 優勝 稲森涼介(2 年)走幅跳 6m03 総合 8 位 中西真由(2 年)100mH 17" 38 総合 6 位

卓球部	[昭和 4 年創部]
■大阪 64 ブロック大会	出場
■大阪高校卓球選手権大会	出場
■大阪高校新人卓球大会	出場
■大阪高校チャレンジカップ	出場
■大阪高校総合体育大会	出場

剣道部	[昭和 4 年創部]
■大阪私学大会	1 回戦
■インターハイ大阪予選	1 回戦
■大阪商業大会	1 回戦
■大阪高校総体	1 回戦
■新人戦	2 回戦

柔道部	[昭和 7 年創部]
■全国大会大阪府予選	白川一樹(3 年)-73 kg級 ベスト 16 山本一真(1 年)-73 kg級 ベスト 16
■大阪高校総体	白川一樹(3 年)-73 kg級 ベスト 16

軟式野球部	[昭和 24 年創部]
■春季近畿地区大会大阪府予選	優勝
■大阪私学大会	3 位
■全国高校野球選手権大阪大会	ベスト 8
■秋季近畿地区大会大阪府予選	ベスト 8

サッカー部	[昭和 24 年創部]
■大阪高校春季大会	4 回戦
■高円宮杯 U-18 サッカーリーグ 3 部	優勝
■高円宮杯 U-18 サッカーリーグ 3 部 1 位プレオ	1 回戦
■大阪私学大会	1 回戦
■全国高校サッカー選手権大阪大会	3 回戦

バレーボール部	[昭和 30 年創部]
■全国高校総体大阪府予選	ベスト 8
■近畿高校バレーボール優勝大会	2 回戦
■全日本バレーボール高校選手権大阪府予選	ベスト 8
■大阪私立高校バレーボール選手権大会	準優勝
■大阪高校新人大会	ベスト 8

ラグビー部	[昭和 32 年創部]
■大阪府高校総体	C シード獲得 (ベスト 4 相当)
■全国大会 7 人制大阪府予選	ベスト 16
■全国大会大阪府予選	ベスト 4
■近畿大会大阪予選	ベスト 4

ワンダーフォーゲル部	[昭和 34 年創部]
■2 月 金剛山	■6 月 葛城山,
■6 月 六甲山	■7 月 金剛山(テト泊)
■8 月 立山(夏合宿 富山県)	■11 月 河内飯盛山
■11 月 箕面	

ボクシング部	[昭和 48 年創部]
■全国高校選手権大会大阪府予選	ピン級 大森証弥 2 位 ウェルター級 細川裕輝 1 位 ウェルター級 細川裕輝 出場
■近畿高校選手権	ウェルター級 細川裕輝 2 位
■国民体育大会大阪府予選	出場
■大阪高校総体	ウェルター級 細川裕輝 2 位

硬式テニス部	[昭和 49 年創部]
■第三学区テニス大会 団体の部	本選出場(1 回戦)

ゴルフ部	[平成 19 年創部]
◇Espirito Santo Women's World Amature Team Championship (個人 8 位 T), 団体 38 位 T	
◇Neighbors Trophy Team Championship 2014 (個人 3 位), 団体 優勝	
◇第 17 回アジア競技大会 2014 (個人 17 位 T), 団体 4 位	
上記いずれも 岡山絵里を含むナショナルチーム。() は、岡山絵里の成績	
☆全国高校ゴルフ選手権大会春季大会	岡山絵里 優勝, 福田風砂 35 位 T 西村涼 10 位 T, 安森一貴 49 位 T
☆全国高校ゴルフ選手権大会夏季大会	岡山絵里 10 位 T, 福田風砂 56 位 T 西村涼 79 位 T, 女子 団体 5 位
☆日本ジュニアゴルフ選手権競技	岡山絵里 6 位, 福田風砂 22 位 西村涼 57 位, 安森一貴 58 位 西村涼 2 日目 52 位 T
☆日本アマチュアゴルフ選手権競技	岡山絵里 38 位 T, 福田風砂 109 位 T
☆日本女子アマチュア選手権競技	岡山絵里 2 位 T, 福田風砂 34 位 T
☆全日本女子パブリックアマチュア選手権競技	福田風砂 優勝, 安森一貴 5 位
☆第 18 回東日本高校選抜ゴルフ競技会	女子 団体優勝

■関西高校ゴルフ選手権競技秋季大会	片岡慎之介・太田雄策・小西美帆・鈴木海咲 4 名 全国大会出場決定
■関西高校ゴルフ対抗戦	女子 団体優勝, 男子 団体 4 位
■関西ジュニアゴルフ選手権 決勝	男女共, 全国大会出場決定 安森一貴 準優勝, 西村涼 3 位 川人健三 14 位 T, 福田風砂 優勝
■関西高校ゴルフ選手権大会	福田風砂 5 位, 西村涼 9 位,
■大阪府高校私学総合大会	男子 団体優勝, 女子 団体準優勝

女子バスケットボール部	[平成 20 年創部]
■大阪高校バスケットボール選手権大阪府予選	1 回戦
■大阪商業大会	2 回戦
■大阪高校総合体育大会東地区ブロック大会	2 回戦
■大阪府私立高校総合体育大会	ベスト 16
■大阪高校バスケットボール新人東地区大会	ベスト 8
■大阪高校バスケットボール新人中央大会	1 回戦

ダンス部	[平成 23 年創部]
■高校ストリートダンス選手権	出場
■日本高校ダンス部選手権	2 回戦
近畿・中国・四国地区予選	出場
■ダンスフェスタ東大阪	出演

吹奏楽部	[昭和 9 年創部]
■第 53 回 大阪府吹奏楽コンクール中地区大会	奨励賞

美術部	[昭和 59 年創部]
■大阪私学美術展	参加

書道部	[昭和 60 年創部]
■第 31 回成田山全国読書大会	出品

漫画研究部	[平成 25 年創部]
■第 23 回全国高校漫画選手権大会	参加

空手道部同好会	
■大阪新人大会【個人戦】	2 回戦

フットサル同好会	
■ビギナーズマッチ(フットサル小阪主催) 8 チーム総あたり戦	2 勝 3 敗 1 引き分け

■ 全国商業高等学校協会 簿記検定試験 合格者数一覧表

回数	実施日	1 級			2 級	3 級	合計
		総合	会計	原計			
76	平成 24 年 6 月 24 日	2	5	9	20	3	39
77	平成 25 年 1 月 27 日	3	2	10	43	160	218
76	平成 25 年 6 月 23 日	2	2	12	64	13	93
77	平成 26 年 1 月 26 日	0	0	8	9	160	177
78	平成 26 年 6 月 22 日	7	14	6	68	6	101
79	平成 27 年 1 月 25 日	1	7	7	40	112	167

◎ 総合 1 級は、「会計」と「原計(原価計算)」の両科目を合格した者

■平成 27 年 3 月 卒業生進路状況

(ゴシック=系列大学)

(3 月 2 日現在)

進路状況	合格	割合
大阪商業大学	92名	20.4%
神戸芸術工科大学	11名	2.4%
大阪女子短期大学	2名	0.4%
他 四年制大学	175名	39.0%
他 短期大学	18名	4.0%
専門学校	85名	18.9%
就職	21名	4.7%
その他未定・出願中	46名	10.2%
卒業生総数	450名	100.0%

■ 平成 26 年度 デザイン美術コース コンクール等 入賞一覧表

第 26 回 全日本高校デザイン・イラスト展 (全国)	入 選 1 名
第 26 回 全日本高校デザイン・イラスト展 (近畿・中部地区)	地区敢闘賞 3 名 , 地区新人賞 1 名
第 7 回 あなたがおすすすめ本の POP 広場	優秀賞 1 名
第 32 回 大阪府青少年読書感想画コンクール	優秀賞 1 名 (大阪府代表) , 優良賞 2 名
献血啓発作品ポスター原画募集事業	入 賞 1 名
第 7 回 サブローごまコンテスト	入 賞 2 名

第 48 期 昭和 53 年卒業
校友会 副会長 (母校教諭)
五十川 精 三
大阪府南河内郡太子町山田 823-6
TEL 0721-98-0653

第 47 期 昭和 52 年卒業
校友会 副会長 英文タイプ部
徳 重 悟
大阪市此花区春日出北 3-8-9
TEL 06-6464-6418

校友会 事務局長
田 中 修
第 38 期 昭和 43 年卒業
〒579-8014
東大阪市石切町 2-8-25
TEL&FAX 072-987-9618

第 28 期 昭和 33 年卒業
校友会 常任幹事
澤 井 駒 一
八尾市本町 6-14-8-4003
TEL&FAX 072-970-5540

校友会 副会長
森 田 賢 二
第 29 期 昭和 34 年卒業
〒577-0016
東大阪市長田西 1-3-10
TEL (06) 6788-1667
FAX (06) 6788-4776

第 38 期 昭和 43 年卒業
ファミリー・カンパニー・ジャズ・オーケストラ
FUNNY COMPANY JAZZ orchestra
校友会副会長 **藤 原 昇**
泉大津市松之浜町 1-17-11
TEL&FAX 0725-33-3904

校友会 会長
宮 原 健
第 29 期 昭和 34 年卒業
〒639-1058
大和郡山市矢田町 5895-34
TEL&FAX 0743-52-4100

大阪・港 海遊館通り
喫茶 軽食 **ロマン**
矢 津 武 志
第 37 期 昭和 42 年卒業
〒552-0021 大阪市港区築港 4-3-24
TEL & FAX 06-6571-1579

住まいの総合商社

大黒住建株式会社
愛 知 浩
第 54 期 昭和 59 年卒業
大阪府羽曳野市野々上 2 丁目 11 番 3 号
TEL (072) 938-2551・FAX (072) 938-2513

ヘアブラシ、ハブラシ、洋服ブラシを創り続けた
創業80余年の実績
イケモトのブラシ

第 23 期 昭和 28 年 卒業
代表取締役会長 **池 本 繁 喜**
品質がメッセージ
池本刷子工業株式会社
本社：〒578-0934 東大阪市玉串町西 1-3-27
PHONE 072-964-2331 FAX 072-964-3363
support@ikemoto-brush.co.jp http://www.ikemoto-brush.co.jp/
東京営業所：〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町 11-8
PHONE 03-5623-3040 FAX 03-5624-5330

校友会 相談役
沖 田 義 彦
第 22 期 昭和 27 年卒業
〒577-0804 東大阪中小阪 1-3-8
TEL & FAX 06-6722-4901

新テイコク薬業株式会社
取締役社長 **藤 川 良 純**
第 26 期 昭和 31 年卒業 校友会常任幹事
〒577-0816 東大阪市友井 5-4-39
TEL 06-6722-2518

丸三運輸倉庫株式会社
代表取締役社長 **宮 田 宏**
第 30 期 昭和 35 年卒業
本社 〒811-2114 福岡県糟屋郡須恵町上須恵 1408-1
新原工業団地内

TEL 092(957)0270(代)
FAX 092(957)0271

第 49 期 昭和 54 年卒業
株式会社 壽精工 工場長
中井 司
東大阪市中野 1-19-24
TEL 072-967-1836

第 60 期 平成 2 年卒業
バスケットボール部OB会会長
劔持 宣博
大阪市城東区放出西 2-10-28-304
TEL 090-2356-1198

植田 生花
稽古用盛花・御流儀・家庭用盛花
各種アレンジ花・生込み
代表 植田 恭啓
第 61 期 平成 3 年卒業
〒581-0874 八尾市大竹 7-254
TEL&FAX (072) 940-7906

スキー部OB会
ホームページ開設しました。
<http://shodai-skiclub.sblo.jp/>
スキー部OBの同窓会の
開催予定などホームページ
より情報発信しています。

営業品目 {
ビニール生地
ビニールテープ
ビニール製品・印刷
ポリシート・腕章
のぼりポール・スタンド
及 切断加工

M 長堀化成品株式会社
代表取締役 **大橋 貞弘**
第 31 期 昭和 36 年卒業
荻野 充 第 51 期 昭和 56 年卒業
大橋 健弘 第 66 期 平成 8 年卒業
〒542-0082
大阪市中央区島之内1-17-14
TEL (06) 6252-6868(代)
FAX (06) 6243-2678

本格串料理
串揚亭 稲葉
稲葉 照夫
第 43 期 昭和 48 年卒業
本店 〒636-0153
奈良県生駒郡斑鳩町龍田
南 1 丁目 2-18
TEL 0745 (75) 0606
FAX 0745 (75) 7878
王寺店 〒636-0003
奈良県北葛城郡王寺町
久度 2 丁目 2-1
リバー東館 地下 1 F
TEL&FAX 0745 (31) 5577

**石切神社参道・海鮮市場**
岡本 勝彦
第 33 期 昭和 38 年卒業
〒579-8011
東大阪市東石切町 1-5-30
TEL 072-981-3423

TESSUTO
代表取締役 **砂金 光夫** 第 39 期 昭和 44 年卒業
株式会社 テスート
〒579-8027 大阪府東大阪市東山町 4-1
TEL : 072-986-5357 FAX : 072-986-5359
E-Mail : mitsuo-sunagane@tessuto.co.jp

田坂会計事務所
所長 税理士 **田坂 隆司**
第 63 期 平成 5 年卒業
☎550-0015
大阪市西区南堀江 2-1-1 ブリエ南堀江 2 階
TEL 06 (6532) 8533 FAX 06 (6532) 8534
URL <http://www.tasaka-kaikei.com>
E-mail tasaka-kaikei@tkconf.or.jp

平成 26 年 11 月
さいたま市政功労賞受賞
(コミュニティ功労)
埼玉県後期高齢者医療懇話会 委員
さいたま市情報公開・個人情報保護審議会 委員
さいたま市本庁舎整備審議会 委員
さいたま市人権教育推進協議会 委員
さいたま市国民健康保険運営協議会 委員
さいたま市浦和区防犯ネットワーク協議会 会長
埼玉県共同募金会さいたま市浦和区支会 会長
さいたま市自治会連合会 副会長
さいたま市浦和区自治会連合会 会長
社会保険労務士
年金委員(厚生労働大臣委嘱)
高橋 利夫
第 24 期(昭和 29 年卒業)
〒330-0072
埼玉県さいたま市浦和区領家 6-13-17
(電話・FAX) 048-833-7138

■ かきかた教室を開きませんか ■

独自に開発した読み書きの教材「花文字」と「ピーターパン」を使って開塾のお手伝いを
させていただきます。現在、書道塾を運営されている方も、このテキストをご活用ください。



ユニークで楽しい教材、花文字

日本教育書道会

編集・発行責任者 **伊藤 影心**

(第 29 期 昭和 34 年卒業 伊藤 榮信)

詳細は、090-4293-8521

教材案内

花文字 入門・応用・ピーターパン No.1~32
1年漢字セット No.1~32 ペン字教本等

安田岡本特許事務所

“新しいモノづくりへの挑戦”

特許権や商標権を始めとする知的財産権の保護・活用は、わが国産業活性化のための最も重要なファクターです。知的財産権は何も大企業だけのものではありません。むしろ中小企業、ベンチャー企業の皆様にとってこそ、この不況の中で“勝ち組”となるための必須条件です。

安田岡本特許事務所は、国内はもとより外国出願、さらに侵害訴訟を含む紛争解決においても長年の経験とノウハウを蓄積しており、常に皆様の良きビジネスパートナーであり続けたいと考えています。

特許・実用新案・意匠・商標等の知的財産に関するご相談がございましたら、ご遠慮なくご連絡下さい。

お陰様で同窓生の皆様方から多数のご相談を賜っております。

〔 所長 弁理士 安田 幹雄 〕

パートナー 弁理士 岡本 宜喜
弁理士 片桐 務
弁理士 武藤 正
弁理士 坂戸 敦
弁理士 国立 久

総員 27 名 (弁理士含む)

〒577-0066

大阪府東大阪市高井田本通 7-7-19 昌利ビル 7 階・6 階

地下鉄中央線「高井田」駅 2 号出口

JR おおさか東線「高井田中央」駅

しょうり

昌利ビル 7 階・6 階

西へ徒歩 1 分

12 期・本校元教諭

会長 弁理士 安田 敏雄

— 会長略歴 —

昭和 17 年 12 月

昭和 21 年

昭和 21 年～35 年

昭和 32 年

昭和 53 年

平成 3 年

平成 9 年

本校卒業 (第 12 期)

官立大阪工業専門学校

(現大阪府立大学工学部) 卒業

本校教諭 (物理、化学、商品学)

弁理士登録

弁理士会 (現日本弁理士会) 副会長

黄綬褒章受章

勲五等双光旭日章受章

TEL 06-6782-6917 (代表)

FAX 06-6782-6900

E-mail: main@actelpat.com



本 社 (中央区森ノ宮)

FOR NEW NOW

OKADA

本 社 〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央1-16-17
TEL 06(6942)-2651 FAX 06(6942)-2670

不 動 産 プ ラ ン ナ ー

宅建免許 大阪府知事 (6) 40169号

株式会社 **岡田本社**

<http://www.okada-inc.co.jp>

E-mail: t4@okada-inc.co.jp

代表取締役 岡田 誠一 (第23期 昭和28年卒業)

おかげさまで卒業生数26年間連続大阪No. 1

車種 普通 普通二輪 大型二輪 普通二種
高齢者・初心者・違反者・ペーパードライバーの各種講習

地域と歩む安全運転センター八戸ノ里ドライビングスクール



大阪府公安委員会指定
八戸ノ里ドライビングスクール
やえのさと

〒577-0034 東大阪市御厨南1-4-38 ☎0120-831024 取締役会長 谷岡 剛(第25期 昭和30年卒業)

酵素一筋 37 年 生命あるところに酵素あり

商品のご紹介

- 商品名：酵素飲料「モルセラ デラックス」
- 名称：純植物性酵素飲料（清涼飲料水）
- 内容量：1,000ml
- 商品説明：旬の野菜・果物・穀物・野草・海草・樹液など、約 60 種類の原材料から特殊技術でエキスを抽出し、大切に熟成発酵させた手作り酵素飲料です。
- 販売者：株式会社 アリカ
- 生産国：日本
- お召し上がり方法：1日2～3回を目安に、原液のまま、または水で割ってお召し上がりください。

旬の素材を中心とする、六十種類以上の新鮮な野菜、果物、海藻、穀物、樹液などが含まれています。

発酵に適した木製の桶に原料を仕込みます。素材の持ち味を活かすため、時間と手間を惜みず手作業にこだわっています。

添加物や水、熱は使わずに、じっくりと熟成します。この間、さらに成分が凝縮され、味わいもまろやかになります。



酵素は自然の贈りもの。

株式会社 アリカ

〒810-0001 福岡市中央区天神 2-14-8 天神センタービル 6F

赤部 功 第 28 期(昭和 33 年卒業)

☎ 0120-11-0204

24 時間受付(月曜～土曜 AM10:00～PM8:00)

※日曜夜間は留守番電話が承ります

FAX 0120-22-3782 [24 時間受付]

※送料は当社負担。

※商品はお申込み後 1 週間以内にお届けします。

※支払は代金引換、又は各種クレジットカード。(手数料無料)

※返品は未開封に限り 8 日以内。(返送料はお申込者負担)

さあ、次はあなたです！

今ならキャンペーン実施中！

税込・全国送料無料



飲む美容液「酵素飲料」

モルセラ デラックス

味：プレーン味、梅味 1本(1,000ml)

通常価格 16,200円 → 特別価格 9,720円

さらに
お得！

3個セットで1個当り 8,750円
6個セットで1個当り 7,777円

平成 25 年度改選 (平成 26 年度 追加) 役員一覽表

(敬称略)

顧問	湯原 俊雄 (元校長 昭 54. 4~昭 61. 3)	23 (S28)	上原 洋允 (元大阪弁護士会会長)	
	柴田 巖 (元校長 昭 61. 4~平 4. 3)	12 (S17)	安田 敏雄 (元日本弁理士会副会長)	
	久間田 博幸 (元校長 平 4. 4~平 9. 3)		大塚 信一 (前校長 平 20. 4~平 25. 3)	
	厚母 眞一 (元校長 平 12. 4~平 16. 3)		堀井 純 (現校長 平 25. 4~)	
	尼子 東吉 (元校長 平 16. 4~平 20. 3)	23 (S28)	岡田 誠一 (前校友会会長)	
相談役	20 (S25) 大村 計治	21 (S26) 青山 兼光	21 (S26) 澤邑 知明	22 (S27) 沖田 義彦
	23 (S28) 玉置 修三	23 (S28) 矢森 武昭		

役職	期(年)	氏名	期(年)	氏名	期(年)	氏名	期(年)	氏名
(本部役員)								
会長	29 (S34)	宮原 健						
副会長	29 (S34)	森田 賢二	36 (S41)	森田 宗弘	38 (S43)	藤原 昇	43 (S48)	佐藤 敏明
	47 (S52)	徳重 悟	48 (S53)	五十川 精三	62 (H 4)	松尾 成彦		
事務局長	38 (S43)	田中 修						
書記	60 (H 2)	坂口 洋平	74 (H16)	松田 周				
会計	37 (S42)	矢津 武志	63 (H 5)	田坂 隆司				
監査	28 (S33)	赤部 功	32 (S37)	井野 早雄				
常任幹事	24 (S29)	安藤 修	26 (S31)	藤川 良純	28 (S33)	澤井 駒一	28 (S33)	宮田 悠紀雄
	29 (S34)	湯谷 宋吾	29 (S34)	須藤 實也	31 (S36)	大橋 貞弘	31 (S36)	石河 鴻一
	33 (S38)	岡本 勝彦	33 (S38)	鈴木 哲士	34 (S39)	仲野 明	36 (S41)	森 悦次郎
	38 (S43)	大岡 清司	38 (S43)	中崎 光男	39 (S44)	砂金 光夫	42 (S47)	山口 弘
	49 (S54)	中井 司	56 (S61)	酒井 淳	75 (H17)	森安 義次	75 (H17)	中村 隆都
	77 (H19)	山岡 大樹	78 (H20)	渡部 優	82 (H24)	柴田 英希		
幹事	9 (S15)	梅野 迪	27 (S32)	清水 英五郎	35 (S40)	正井 康久	41 (S46)	生駒 幸一
	47 (S52)	田口 富雄	49 (S54)	山本 眞大	53 (S58)	清水 尚義	61 (H03)	植田 恭啓
	64 (H 8)	井上 力哉	66 (H08)	大橋 健弘	71 (H13)	崎谷 裕史	76 (H18)	大西 潤哉
	79 (H21)	小島 アヤ	79 (H21)	高橋 尚起	80 (H22)	大井 孟	80 (H22)	中河 真菜
	80 (H22)	後藤 彰久	81 (H23)	藤崎 鈴香	81 (H23)	松尾 雅之	82 (H24)	植木 彩香
	83 (H25)	北田 章悟	83 (H25)	前田 正太郎	84 (H26)	小林 希硯	84 (H26)	岩間 梨那

平成 26 年度

(敬称略)

賛助金・賛助広告協力者芳名

皆様方のご好意による浄財を「校友会活動賛助金」および「賛助広告」としてお願いいたしましたところ、多数の皆様からご協力を賜り、ありがとうございました。

お蔭様で、賛助金・賛助広告を合わせまして約 650,000 円の浄財を拠出していただきました。深く感謝申し上げます。

芳名記載には、万全を期したつもりですが、記載漏れ等がありましたらご容赦を賜りますようお願い申し上げます。

賛助金

賛助金

賛助金

賛助金・賛助広告

賛助広告

賛助広告

26 (S31)	藤川 良純	23 (S28)	池本 繁喜	49 (S54)	中井 司
28 (S33)	赤部 功	25 (S30)	谷岡 剛	52 (S57)	佐竹 健司
29 (S34)	宮原 健	26 (S31)	木下 正幸	54 (S59)	愛知 浩
33 (S38)	岡本 勝彦	28 (S33)	澤井 駒一	61 (H 3)	植田 恭啓
39 (S44)	砂金 光夫	29 (S34)	森田 賢二	63 (H 5)	田坂 隆司
43 (S48)	稲葉 照夫		伊藤 榮信	64 (H 6)	井上 力哉
47 (S52)	徳重 悟	30 (S35)	宮田 宏		

賛助広告

11 (S16)	杉山 瀧藏	37 (S42)	増田 猛雄	8 (S14)	岡田 卓造
12 (S17)	安田 敏雄		矢津 武志	9 (S15)	梅野 迪
22 (S27)	沖田 義彦	38 (S43)	藤原 昇	10 (S16)	寺澤 章
23 (S28)	岡田 誠一	48 (S53)	五十川精三		矢田貝善雄
				11 (S16)	田中喜久雄

賛助金

13 (S18)	畑中 達司	29 (S34)	湯谷 宋吾	43 (S48)	八倉 康祐
14 (S20)	高鶴 邦彦		雁金 祥泰	45 (S50)	谷垣 和夫
	楳 利昭		中村昭太郎	46 (S51)	南口 興亜
17 (S22)	北村 寛		中井 昭夫	48 (S53)	牧山 孝司
	横井 辰夫		中野 隆右	49 (S54)	梶田 昇
19 (S24)	次田 幸雄	30 (S35)	喜多 忠博	51 (S56)	匿名希望
20 (S25)	大村 計治		北浦 明雄	53 (S58)	清水 尚義
	篠浦 一朗		片山 廣次	54 (S59)	窪田 敏幸
	笠 正男		吹田 進		植田 洋
21 (S26)	原田 勉		後藤 正義		石原 秀一
	大塚 哲男	31 (S36)	東條 勝		西岡 利昭
	大藪 稔		木戸 守正	60 (H 2)	尾上 憲彦
	澤邑 知明		平石 昭男	62 (H 4)	前川 和義
	橋本 修		吉田 史朗	73 (H15)	井上 直樹
22 (S27)	中川 勉		石河 鴻一	80 (H22)	中谷 英之
23 (S28)	玉置 修三	32 (S37)	井野 早雄	81 (H23)	徳山 雄大
	橋本 正孝	35 (S40)	布川 清澄	82 (H24)	匿名希望
	西野 泰司		南宅 英治	83 (H25)	井上 涼太
	矢森 武昭		正井 康久		
	宮野 友義		上門 俊男		
24 (S29)	慶田 欽一	36 (S41)	森 悦次郎		
	安藤 修		松本 宏		
	坂口 松男		牧内 勝巳		
26 (S31)	真鍋 安男	37 (S42)	荻野 秀雄		
27 (S32)	清水英五郎	39 (S44)	横山 一夫		
28 (S33)	宮田悠紀雄	42 (S47)	大森 輝義		

数字=期(卒業年)
S=昭和, H=平成

太字=14号賛助広告予約

■ 『校友会活動賛助金』のお願い

本会の目的(会則第3条)を達成するためには、各種事業を計画・立案することになり、かなりの資金を必要とします。

毎年、総会開催に伴う諸経費、母校の周年事業の協賛や校友会の今後の活動のための資金として、皆様方のご好意による浄財を「校友会活動賛助金」としてお願いしております。

今年も一口¥1,000(何口でも可)の温かいお志をお願いいたします。

- 送金方法 : 郵便振替 (別紙「払込取扱票」を利用)
口座番号 : 大阪0960=5=67967
加入者名 : 大阪商業大学高等学校 校友会

■ 『新役員』の要請

平成 25 年度に改選いたしました役員は、本誌 p. 15 のとおりです。

平成 28 年度総会で役員を改選します。積極的に役員として活動していただける方は、自薦・他薦を問わず、校友会事務局までお申し出下さい。特に、幹事は各期に最低一名はお願いしたいのですが、充分ではありません。ぜひ、積極的に申し出をお願いします。

役員活動内容

- 本部役員 : 年間3回の本部役員会と幹事会に出席して諸審議に参加していただきます。
幹事 : 年間2回の幹事会の諸審議に参加し、総会に向けての準備と当日の役割をお願いします。

■ 『賛助広告掲載』のお願い(要予約)

次号(第15号)に賛助広告掲載のご協力を!
皆様よりのご協力をお願いします。

- 広告サイズ: A. 縦 2.3cm x 横 4.7cm ¥3,000
B. 4.6cm x 4.7cm ¥5,000
C. 6.9cm x 4.7cm ¥8,000
D. 4.6cm x 9.5cm ¥10,000
E. 9.2cm x 9.5cm ¥15,000
F. 13.8cm x 9.5cm ¥20,000
G. 9.2cm x 19.0cm ¥25,000
H. 13.8cm x 19.0cm ¥30,000
I. 27.6cm x 19.0cm ¥50,000

申込み締切: 平成28年3月5日(土)

広告料: 次年度配布の「払込取扱票」にてお振込みの上、広告原稿をお送りください。

■ 『校友会だより「校友会誌」』の原稿募集

次号(第15号)に原稿投稿のご協力を!

校友会活動を充実させるため、校友会だより「校友会誌」を発刊しています。より充実した内容にするためには、皆様よりの投稿が不可欠です。

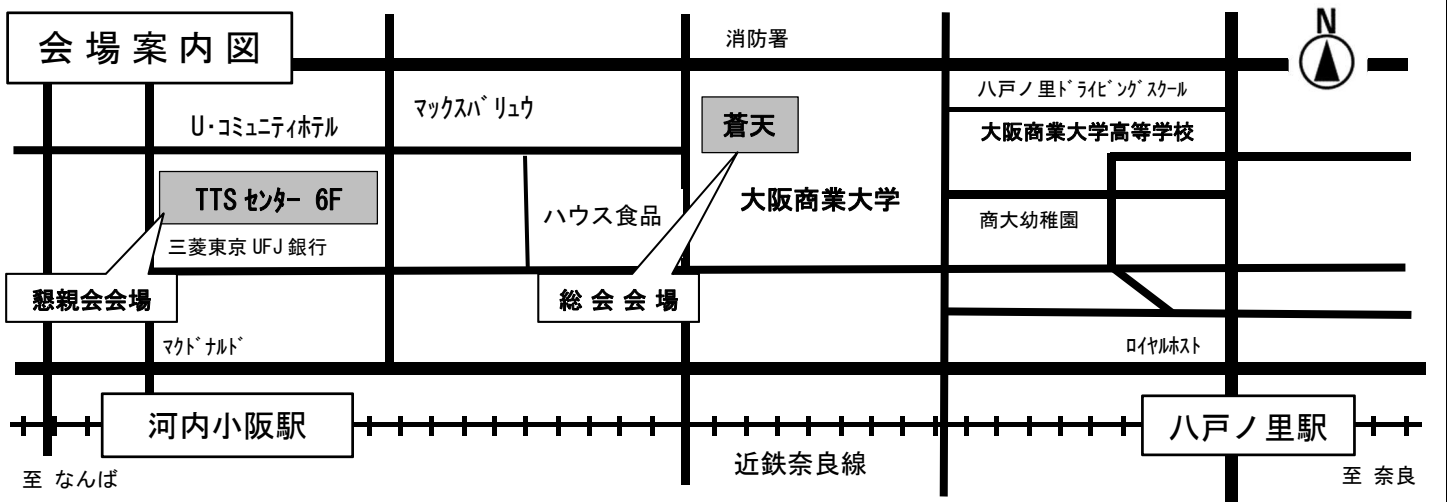
下記により原稿を募集していますので、ぜひ、投稿していただきますようお願いいたします。

なお、同期会・クラブOB会など開催の情報を事務局までお寄せください。校友会から些少ですが補助金を支給させていただきます。

原稿の内容: 同期会・クラス会・クラブOB会などの状況・生徒時代の思い出・短歌俳句など。
写真や資料の提供も歓迎します。

原稿提出期限: 平成28年3月5日(土)

原稿送付先: 大阪商業大学高等学校 校友会 事務局 〒577-8505 東大阪市御厨栄町 4-1-10 大阪商大高校内
TEL: 06-6781-3050 FAX: 06-6781-8972 Eメール: info@kouyuukai.org
会誌発行日: 平成28年4月18日(月)の予定 発行部数: 約13,000冊



編集後記
同窓会組織が整備され、初めての総会が開かれた平成13年5月から、今年で満14年15回目の総会を迎えることになりました。まことに喜ばしい限りでございます。
今回の会誌は、皆様からのご意見により全ページをカラー一刷りにしてみました。如何でしたでしょうか?ご意見

や感想をお寄せくださいますようお願いいたします。
毎回、皆様よりの投稿や賛助金・賛助広告のご協力を頂いておりますことは、会誌発行にあたり大変ありがたく、感謝に堪えません。
今後もより充実した校友会誌の編纂を心がけますので、よろしくご意見申し上げます。(編集人)